



熊谷市 記者クラブ取材情報

令和元年10月28日発表
担当課: 熊谷市教育委員会
社会教育課

タイトル

令和元年度 熊谷市文化功労者・教育関係職員表彰式

1. 日時 令和元年11月3日(日・祝日) 10時00分 開式

2. 場所 熊谷市立大里生涯学習センター あすねっと

3. 事業概要

<事業内容>

【式典】

・文化功労者3名 岡部 弘行 氏(学校教育・社会教育 84歳)
武政 とし子 氏(文化 75歳)
松本 富男 氏(体育 77歳)

・教育関係職員表彰者 20名(学校教職員18名、学校医2名)
(熊谷市内在勤15年以上で勤務成績が良好である者)

<目的>

・文化功労者: 教育・学術・文化・体育の振興について特に功績が顕著である方を表彰する。
・教育関係職員表彰: 熊谷市内在勤15年以上で勤務成績が良好である者を表彰する。

<影響・効果>

・文化功労者: 文化活動を行っている方の励みになり、文化活動の振興に資することになる。
・教育関係職員表彰: 教育関係職員の励みになり、教育の振興に資する。

4. 特徴やPRポイント

5. その他

<主催者>

熊谷市教育委員会

代表者 野原 晃

<連絡先>

048-524-1111 内線(394)

※ 資料の有無(☒ 有 ・ ☐ 無)

担当者 熊谷市教育委員会社会教育課 茂木、水野

連絡先 TEL 048-524-1111 内線(394) shakaikyoiku@city.kumagaya.lg.jp

熊谷市文化功労者

おか べ ひろ ゆき
岡 部 弘 行 氏 (8 4 歳)

熊谷市小江川

氏は、長きにわたり学校教育に携わり、主に中学校教諭として、生徒が興味関心をもって学ぶ指導方法に取り組み、埼玉県教育委員会と連携して、県内・市内の理科教育の発展と充実に寄与するとともに、市立プラネタリウム館の新設に伴う児童生徒のプラネタリウム学習のシステムづくりに貢献されました。

特に、大幡中学校開設の際には、準備副委員長として、開校後には教頭、校長として学校内外の整備と校風の確立に尽力されました。その後も、大原中学校長として、校舎の大規模改修をはじめ、教育環境の整備を図るとともに、生徒の自主性や愛校心を育む生徒会づくりに尽力されました。また、荒川中学校長として、市教育委員会の研究委嘱を受け、「豊かな心を育てる学校同和教育の推進」に取り組み、市内の同和教育の推進に貢献されました。さらに、熊谷市教育研究協議会会長として、教育研究の推進に大きく尽力されました。

平成13年から4年間は、旧江南町教育委員会教育長として、町の学校教育・社会教育の向上に尽力され、市史編さん等に多大な貢献をされました。退任後も、その豊かな経験を生かし、私立幼稚園園長や江南南小学校の学校評議委員として、地域の子育て、教育支援に貢献されました。

このように、優れた指導力と豊かな識見により、熊谷市・埼玉県の教育の発展と充実に貢献した功績は、誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

たけ まさ こ 氏（75歳）
武 政 とし子

（雅号：武 政 緑 敏）
たけ まさ りょく びん

熊谷市御正新田

氏は、永年にわたり日本の伝統文化である「いけばな」の講師として、桂古流いけばな教室「緑彩会」や「沙羅の会」を開設するとともに、平成8年に、各流派をまとめ「江南いけばな芸術協会」を設立し、活動の充実と後進の育成に尽力されています。また、女流工芸作家としても活躍され、公民館、小・中学校等での講演会・実技講習会・体験教室並びに展示会の開催など、作品を通じて次世代の人材育成や芸術文化の伝承・普及及び振興に寄与されました。

これらの功績により、平成12年には埼玉県知事から「文化ともしび賞」を授与されました。

文化連合の合併の際には、江南町文化団体連合会副会長として尽力し、その後、熊谷市文化連合副会長として、江南フェスティバルを熊谷市文化連合フェスティバルとして継承するなど、地域間の親睦や融合に貢献されました。

さらに、その見識と経験から、30年以上にわたる江南地区青少年健全育成連絡会運営委員をはじめ、社会教育委員、熊谷市文化振興基金選考委員会会長、江南公民館運営協議委員、熊谷市コミュニティ市民協議会副会長を務めるなど多方面で活躍されています。

このように、地域文化の振興と発展に貢献した功績は誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

まつ もと とみ お 氏（77歳）
松 本 富 男

熊谷市榎町

氏は、一貫してソフトテニスの普及、啓発及び振興に寄与される中、昭和55年から熊谷市ソフトテニス連盟会長、平成16年から埼玉県ソフトテニス連盟会長として、その卓越した手腕と類い希な情熱で現在もそれぞれの充実発展に貢献されています。

今年で56年目を迎える「早起きソフトテニス教室」では、現在もその中心として、初心者から経験者までをその力量に応じ、男女を問わず指導されています。これにより、シニア層の国内大会での活躍や子供たちの健全育成の増進に大きく貢献されています。

「総理大臣杯全国ママさん大会」は、昭和55年当初から熊谷で開催され、本市をママさんテニスの聖地として全国に発信し続けています。

昭和55年からは、熊谷市体育協会の要職を歴任され、平成23年には公益財団法人化を県下で初めて行うなど、熊谷市体育協会のより一層の充実発展に尽くされました。

さらに、熊谷市議会議員5期20年間務められる間も、スポーツ文化振興議員連盟会長として本市のスポーツ文化の向上に尽力されるとともに、熊谷さくらマラソン大会実行委員会会長として、マラソン100選にも選ばれる人気のある全国的な大会へ発展させました。

このように、スポーツの振興、発展に尽力し、市民の健康や生きがい、豊かさを実感できる市民生活の構築に寄与された功績は誠に顕著であります。